

相愛学園歌

大木 惇夫 作詞
山田 耕祥 作曲

一、生駒山 ^{い こまやま} みどりすがしく ^{うる} 美はしや ^{まな} わが学び舎 ^や

^{あおぞら} 青空のしるべをし ^{あこがれて} ^{やすらひを讃へまし}

あらし世 ^よ の人 ^{ひと} のため ^{ああ} ^{そうあい} 相愛 ^{おとめ} の乙女われら

^{たち} 立ち寄るや ^{さら} 沙羅 ^き の木 ^{かけ} のかけ

二、淀川 ^{よどがわ} や ^{みなわ} 泡沫 ^い ながれて ^み 生きの身 ^{つね} は ^な 常なきもの

^{おお} 大いなる ^{みひかり} 御光 ^{つつ} に ^{さい} 包まるる ^{つた} ^た さいは ^{つた} ひ ^た を ^た 伝へまし

つら ^よ き世 ^{ひと} の人 ^{ああ} のため ^{そうあい} ^{おとめ} 相愛 ^{おとめ} の乙女われら

^{たち} 立ち寄るや ^{さら} 沙羅 ^き の木 ^{かけ} のかけ

三、茅渟 ^{ちぬ} の海 ^{うみ} ^{しお} 潮路 ^{しず} 静けく ^{あか} 明るしや ^{とも} わが友 ^{ども} どちら

^{おし} み教 ^{した} へ ^{まも} を ^{ともし} 慕 ^{ともし} ひ ^{ともし} つつ ^{ともし} 守 ^{ともし} り ^{ともし} つつ ^{ともし} 灯 ^{ともし} び ^{ともし} を ^{ともし} か ^{ともし} かけ ^{ともし} まし

^{くら} 暗 ^よ き世 ^{ひと} の人 ^{ああ} のため ^{そうあい} ^{おとめ} 相愛 ^{おとめ} の乙女われら

^{たち} 立ち寄るや ^{さら} 沙羅 ^き の木 ^{かけ} のかけ



平成25年度

第67回

相愛中学校

卒業証書授与式

日時

平成26年3月15日(土)午前10時

会場

相愛学園本町学舎講堂

式次第

開式のことば

真宗宗歌 (斉唱)

献灯 献華 献香

学校長焼香 (持念礼拝)

敬礼文 (聖歌隊)

三帰依 (次第取・合掌礼拝)

証書授与

献華偈 (聖歌隊)

卒業生代表献華

念仏 (卒業生斉唱)

恩徳讃 (卒業生斉唱)

卒業生代表焼香

奏楽・消灯

各賞表彰

学校長式辞

理事長祝辞

学園長祝辞

本願寺派総長祝辞

記念品贈呈

(育友会・同窓会)

在校生総代送辞

卒業生総代答辞

学園歌 (斉唱)

閉式のことば

※各賞表彰

本願寺賞、大阪府知事賞、
日本私立中学校高等学校
連合会賞、大阪私立中
学校高等学校連合会賞

真宗宗歌

真宗各派協和会 作詞

島崎 赤太郎 作曲

一、ふかき^{のり}み法に あいまつる

身の幸^{さち} 何にたとうべき

ひたすら道を ききひらき

まことのみむね いただかん

二、とわのやみより すくわれし

身の幸 何にくらぶべき

六^{ろくじ}字のみなを となえつつ

よのなりわいに いそしまん

三、海^{うちと}の内外の へだてなく

みおやの徳の

とうとさを

わがはらからに 伝えつつ

浄^{みくに}土の旅を 共にせん

念 仏

なもあみだ あみだ なもあみだ あみだ なもあみだぶつ
南無阿弥陀 阿弥陀 南無阿弥陀 阿弥陀 南無阿弥陀仏

敬礼文

Na-motassa bha ga-va-to a ra-ha- to sam-mā-sam bud dhas-sa

ナモタッサバガヴァート アラハート サンマサン ブッタッサ

三 帰 依

Bud - dham sa-ra-nam gac - chā - mi

ブツ ダン サラナン ガツチャー ミ

Dham-dham sa-ra-nam gac - chā - mi

ダン マン サラナン ガツチャー ミ

San - gham sa-ra-nam gac - chā - mi

サン ガン サラナン ガツチャー ミ

恩 徳 讃

にょらいだいひ おんどく
如来大悲の 恩徳は

み こ ほう
身を粉にしても 報ずべし

ししゆちしき おんどく
師主知識の 恩徳も

ほねをくだきても 謝すべし

献灯

み仏に光をささげることが示します。灯は迷いの闇を照らすみ仏の知恵の光をあらわします。

献華

み仏にお花をささげることが示します。お花は、私たちが絶えまなく支え育み下さるみ仏の慈悲の心をあらわします。

献香

一般にはみ仏によい香りをお供えて礼拝する意味で行いますが、浄土真宗では、わが身心を清めさせていただく意味で行います。